

# 「ぐんま農業研究基本計画(中間年改訂版)」(案)の概要

## 1 策定のねらい

平成27年3月に向こう10年程度を見据えて「ぐんま農業研究基本計画」策定しましたが、農業をめぐる諸情勢が変化したこと等を踏まえ、各試験研究機関や研究調整部門が重点的に取り組むべき目標を改めて明確化し、効率的な研究開発を推進するため、中間年にあたる令和2年度に改訂版を策定します。

本計画は、次期「群馬県農業振興プラン」(令和3年3月策定予定)の推進にあたって、必要な技術開発分野を担当する「部門計画」として位置づけるものです。

## 2 計画期間

令和3年度を初年度とし、令和7年度を目標年度とする5カ年計画とします。

## 3 本文の概要

### 第1章 策定の考え方

### 第2章 農業研究の基本的な考え方

- ① 地域に根ざした技術開発の推進
- ② 研究の重点化と計画的な進行管理
- ③ 研究成果の普及と技術支援
- ④ 社会的な貢献

### 第1章 農業研究の重点目標と研究の方向

#### 1 特色ある農産物づくりを支援する技術の開発【特色アップ】

- ・ぐんまブランドを育む品種の育成・選定、家畜や魚の改良・作出し、それらの特性を最大限に発揮させる栽培・飼養管理技術の開発に取り組みます。
- ・高機能シルクを生産する遺伝子組換えカイコの飼育管理技術の確立や地域食材の特長を活かした加工技術の開発を行います。

#### 2 収益性を高める農業生産技術の開発【収益アップ】

- ・キュウリ、イチゴ、トマトのIoT技術を利用した高度環境制御技術やデータを活用した生産性向上技術、施設ナスや雨よけハウレンソウの多収・安定栽培技術の開発を行います。
- ・有用物質を生産する遺伝子組換えカイコの実用飼育技術、ワカサギの効率的生産技術、畜産の飼料自給率向上などの収益性を高める技術の開発を行います。

#### 3 省力低コスト農業生産技術の開発【ゆとりアップ】

- ・省力で低コストな生産及び飼養管理を実現するため、ICT、AI、リモートセンシングなどの先端技術を活用したスマート農業技術の開発を行います。

#### 4 環境と調和した農業生産技術の開発【やさしさアップ】

- ・農薬の使用を低減する総合的病害虫管理(IPM)技術、環境と調和した持続可能な病害虫防除技術、環境への負荷を軽減する土壌管理技術の開発や農耕地の放射性セシウム濃度の推移を把握する調査を行います。
- ・溪流のイワナ資源を増やすための増殖技術の開発やヤリタナゴの自然繁殖に不可欠なマツカサガイの繁殖条件の解明などを行います。
- ・畜産環境保全技術を開発し、地域と共存するための技術支援を行います。

#### 5 気候変動に対応した農業生産技術の開発【適応力アップ】

- ・農作物の高温障害低減技術の開発、高温に強い蚕品種の育成・改良、畜産の温暖化に適応した生産技術、高水温耐性ニジマス系統の開発を行います。

### 第4章 農業研究の推進に関する施策

- ① 研究推進体制の整備充実
- ② 産学官連携・農商工連携等の強化
- ③ 知的財産の想像、確保及び活用
- ④ 研究成果の普及・事業化
- ⑤ 県民とのコミュニケーションの確保